

## 上三川産のいちごを学校給食に

1月10日、宇都宮農業協同組合より町内小学校へ上三川産のいちごが寄贈されました。宇都宮農業協同組合では、地産地消を通じて子どもたちの食への関心を高め、食を支える農業の役割を感じてもらうことを目的として、学校給食へのいちごの提供を実施しています。提供されたいちごは、1月15日と22日の2日に分けて給食に出されました。子どもたちは旬のいちごをとってもおいしそうに食べていました。



左から、黒須忠治上三川支部副支部長、佐藤俊伸代表理事組合長、氷室教育長



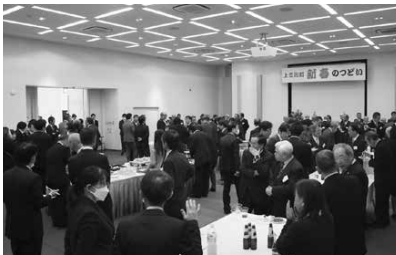
本郷北小学校の給食の様子

## 新春のつどいを開催

1月17日、日産自動車株式会社栃木工場ゲストホールにおいて、4年振りに「新春のつどい」が開催されました。

実行委員会長の町長は主催者あいさつで、能登半島地震で犠牲になられた方々へのご冥福をお祈りし、被災された方々へのお見舞いの言葉のほか、今年オープン予定のORIGAMIプラザや、町の特性を活かした今後のまちづくりなどについて述べました。

町・商会・JAうつのみや上三川営農経済センターなど各団体の関係者約130名が参加し、新年の抱負を語り合うなど、情報交換や親交を深めていました。



## 栃木県農業大賞「特別賞」受賞

1月31日、栃木県公館において令和5年度栃木県農業大賞の表彰式が行われ、株式会社カクタ花農場角田盛一さん(下神主)が表彰されました。

角田さんは、地域資源を活用し、都市と農村の交流など農村振興に顕著な成果を収められたことで、農村活性化の部・特別賞(下野新聞社長賞)を受賞しました。



## 年末の交通安全県民総ぐるみ運動

12月22日、ジョイフル本田宇都宮店にて交通安全啓発品の配布を実施しました。

この活動は、下野地区交通安全協会上三川支部役員・同協会女性部会上三川支部役員・上三川町交通安全母の会役員・下野警察署によって行われ、啓発品を配布し、施設利用者を対象に交通安全への意識向上を呼びかけました。



## 令和6年能登半島地震 石川県穴水町への災害義援金募集

栃木県は総務省による応急対策職員派遣制度により、令和6年1月1日に発生した能登半島地震で被災した石川県穴水町の支援担当県となりました。

町においても支援チームの一員として県内市町と協力し、1月25日から職員の出発を実施しています。

今後も穴水町への支援を町一丸となって進めるため、役場にて災害義援金の受付をしています。

1月30日には、上三川雄飛会から災害義援金として10万円をお預かりしました。

